

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2024年(令和6年)

7月5日

金曜日
月4回金曜日発行

関
東

自然豊かな地に移住、夫婦で就農

中央市 近藤慎吾さん、かおりさん

「しゃんとした品質の良いものの届けたい」



【山梨】中央市で、トウモロコシのゴールドラッシュとキュウリを栽培している「しゃんと畑」の近藤慎吾さん(42)、かおりさん(43)夫妻の写真。

二人は愛知県出身。屋号の「しゃんと」とは愛知の方言で「ちゃんと」という意味だ。農業は人の口に入るものを作る責任の大きい仕事なので、しゃんとしたものを作り

続けたいという思いが込められている。

二人が農業に触れたのは、結婚した2013年。当時は名古屋市に住んでいて別の仕事をしていたが、休日にかおりさんの実家のジャガイモやニンジン栽培を手伝ううちに、農業の楽しさに引かれていったという。

旅行で訪れ、いつか住みたいと思っていた自然豊かな同市の豊富地区で就農することを決意し、15年に移住した。栽培品目の選択や畑、農機具なども、同市農業振興公社や近所の先輩農家の手助けを得て準備し、16年の初収穫にこぎつけた。二人は声をそろえ「今後も品質の良いものを消費者に届けたい」と語る。